



## ☆「全国学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

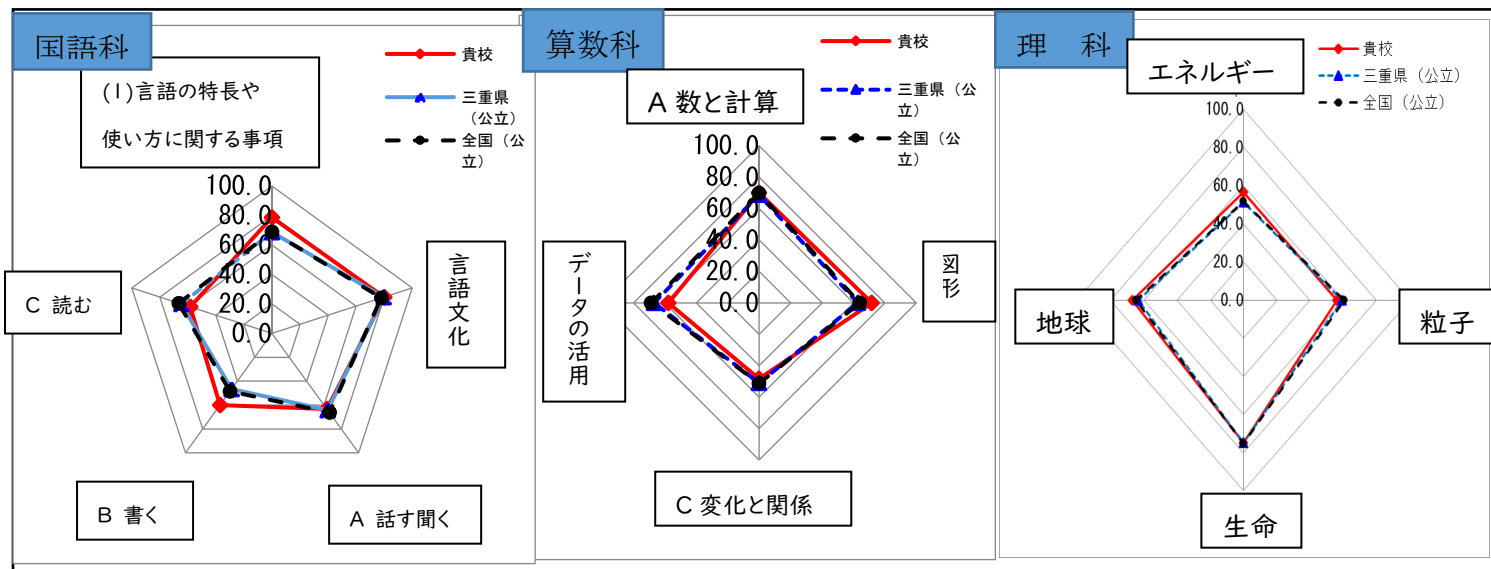
本年5月に6年生を対象に実施された「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校では、「全国学力・学習状況調査」を実施後、全教員で解答の採点と分析を行い、その後の指導にいかしてきました。この度、文部科学省から調査結果が送付されましたので、再度、全教員で結果の分析を行いました。また第3回学校運営協議会の場でも調査結果をお伝えしてご意見を頂く予定です。今後も成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実させていきたいと思ひます。

### 1 各教科の調査結果から

#### (1) 平均正答数について

教科	本校	三重県	全国
国語 (14問)	9.5	9.0	9.2
算数 (16問)	10.0	10.0	10.1
理科 (17問)	10.9	10.6	10.8

#### (2) 学習指導要領の内容の平均正答率の状況について



上の表のように、平均正答数では国語・理科はやや県や全国を上回っていました。

下の各教科の平均正答率の状況を見ると、国語では「読むこと」と「A 話すこと・聞くこと」が全国と比べると苦手な傾向が見られました。一方で、これまで苦手傾向が見られた「B 書くこと」は改善傾向が見られました。算数科では「C 変化と関係」「D データの活用」の2領域が昨年に引き続いて、全国と比べると、苦手な傾向が見られました。また、理科では、「粒子」の領域と知識・技能の観点で全国と比べると苦手な傾向が見られました。

国語、算数、理科のいずれの教科においても、記述式の無解答の割合が全国と比べて高くなっていました。例えば、国語では、「物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の□に入る内容を書く」といった問題や、理科では「自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述する」といった問題です。

### (3) 設問ごとの結果から分かった本校児童の強みについて

- 国語 ・話し言葉と書き言葉の違いを理解する。  
・文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整えること
- 算数 ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し記述する。図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解する。【図形】
- 理科 ・メスシリンダーという実験器具を理解している。日光は直進することを理解している。【理解】

### (4) 設問ごとの結果から分かった本校児童の弱みについて

- 国語 ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。  
・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えること  
・漢字を書く問題
- 算数 ・「 $1050 \times 4$ 」など0のある計算や「14と21」の最小公倍数を求めるなどの基本的な計算。  
・25%など百分率で表された割合を分数で表すことや数量が変わっても割合は変わらないことなど、割合に関すること。【変化と関係】  
・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。【データの活用】
- 理科 ・実験器具の名前をメスシリンダーということは約86%の子が理解しているが、メスシリンダーの正しい使い方は50%しか理解できていない。【技能】  
・実験の結果から、問題の解決に必要な情報を取り出しやすく整理された記録を選ぶ。【技能】  
・凍った水溶液について試してみたいことを基に見出された問題を書く。【思考・判断・表現】

### (5) 今後の取組について

- 国語 ・いろいろな条件(資料から引用する・要約する)など)に対応した文章を書く練習に取り組ませる。  
・普段の授業から既習漢字を書くようにさせる。
- 算数 ・質問をしっかりと捉えること、質問に合った答え方を練習させる。  
・割合、約数・倍数の復習に取り組む。
- 理科 ・実験器具の使い方が定着していないので、繰り返し扱う機会を持つ。  
・課題と実験内容を結び付けて考える習慣を身に着けさせるために、実験意図を意識させていく。

## 2 児童質問紙に関する調査結果から

### ①本校の子どもたちの強みについて

基本的な生活習慣の定着割合は全国よりも高く、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。」(「当てはまる」が全国より27ポイント高い)「今住んでいる地域の行事に参加している」(「当てはまる」が全国より36ポイント高い)など前向きな生活態度がみられます。

### ②本校の子どもたちの弱みについて

国語や算数の勉強は大切だと思っているけれど好きではない割合が高い(全国より国語12.4ポイント、算数16.2ポイント高い)。「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強しますか」(2時間以上全国より11.8ポイント低い、1時間以上32.4ポイント高い)。

### ③その他

「放課後や週末に学童に参加している」割合は全国より15.3ポイント高く、「学校や家以外の場所で勉強している」割合は全国より29.2ポイント高い。放課後学習に占める学童での時間の割合が高そうである。

## 3 今後の取組について

課題改善のために、次のような取組の充実を図っていきます。

子どもたちの良いところや頑張っているところを引き続き認めながら、どの学年も「書く活動」を色々な場面で取り入れ、自分の考えをまとめ発表する時間を大切にします。また、「読解力」向上のために、読書活動の時間を大切にすると共に、「聞く・話す」力を伸ばすために友だちの考えをかわりに説明する機会を設けます。「データ活用」の意識化として日頃から「どこからそう思ったのか」根拠を大切にします。